

## 令和5年度 総合問題 解答例および出題意図

### 問1 解答例

音声言語は間違いなく人間の言語のもっとも一般的な類型だが、手話が現に存在するという事は、全く別の手段によっても人間の言語が発達できることの証拠である。

### 問2 解答例

ろうコミュニティ手話は、ろう者の子どもたちが通う学校が設立され、ろう者のコミュニティができることで生まれる。これに対して村落手話は、主に遺伝的原因によって特定の地域でろう者が多くなることによって生まれる。

### 問3 解答例

アル=サイドでは、ろう者の社会参加が妨げられない社会が形成された。というのも、ろう者と聴者の血縁関係が近く、聞こえないことがスティグマ化されておらず、聴者もろう者とコミュニケーションをする必要性を強く感じているからである。

### 問4 解答例

ABSLのような新しい手話の研究は、言語がどのようにして新しく生まれ、慣習化し、コミュニティ内のユーザーたちの間で広がっていくかを、現実の光景として見せてくれる。

### 問5 出題意図

アル=サイドの例との比較を通して、日本をはじめとする現代社会の社会的弱者やマイノリティをめぐる諸問題とその背景について具体的に取上げた上で、倫理や文化、教育、経済などの複数の観点から論じることが求められている。